

	現状	課題	目標	【実現方策1】 世代を超えた交流の場を充実させる	【実現方策2】 すべての住民の生活の利便性を確保する	【実現方策3】 地域が連携して住民の生きがいづくりをする	
福祉	(強み) ①福祉施設が充実し、高齢者等が利用しやすい地域である。 ②福祉ボランティアの見守り等が活発である。	①様々な交流の場を増やし、高齢者を孤立させない地域にする必要がある。 ②高齢者等外出困難者の移動手段を拡充し、地域内の移動を容易にする必要がある。	・みんなの思いやる心で幸せを感じる「まち」	【実現プラン】 ①地域施設を活用し地域サロンなどを開設する。 ②昔遊び等を通して世代を超えた交流を行う。	【実現プラン】 ①外出困難者が宅配で買い物などができる手段をつくる。 ②さぎそう河内号等の利用を広めて、誰もが気軽に外出できるようにする。	【実現プラン】 ①地域で生きがいづくりの場をつくる。 ②地域の人材を活かした講座や教室等を開催する。 ③手づくり特産品を認定し、ネット等で販売する。	
	(弱み) ①一人暮らしの高齢者世帯が増加している。 ②地域の相互扶助が希薄化してきている。 ③人材不足で、要援護者を見守る人が少ない。 ④移動の手段がない独居高齢者が多い。	③助け合い精神を持ち、住民が互いに思いやる必要がある。					
	現状	課題	目標	【実現方策4】 誰もが楽しめるスポーツを通して健康増進を図る	【実現方策5】 食育や地産地消を通して健康づくりを進める	【実現方策6】 ひとりひとりの健康に対する意識を高める	
健康	(強み) ①福祉施設があり、高齢者等が利用しやすい地域である。 ②総合運動公園やプール等の体育施設が充実している。 ③スポーツのまちとしてスポーツが浸透している。	①施設の有効利用と気軽に参加できるスポーツを通して、健康づくりを進める必要がある。 ②食育に関する意識を向上させ、健康に配慮した取り組みをする必要がある。 ③多様な機会を捉えて健康づくりの啓発を進め、健康に対する意識を高める必要がある。	・健康で生きがいのある生活ができる「まち」	【実現プラン】 ①健康増進のため、ウォーキングマップを作成しウォークラリー等を開催する。 ②地域の施設を利用したスポーツ教室等を開催する。	【実現プラン】 ①食育セミナーを開催する。 ②地区内で採れた農産物を利用し、イベント等を開催する。	【実現プラン】 ①地域で健康イベントの開催等を行い、健診意識を高める。 ②自治会単位で体力テストを実施する。 ③福祉まつり等で健康度の調査を拡充させる。	
	(弱み) ①地区対抗スポーツ大会等の住民参加者が少ない。 ②塩分の摂り過ぎなど、食育に関する意識が低い。						
	現状	課題	目標	【実現方策7】交通安全意識を高めて安全で安心な交通環境づくりを進める。	【実現方策8】防災意識を地域に浸透させて防災行動力を高める	【実現方策9】防犯意識を高めて地域の防犯力の向上を図る	【実現方策10】安全な道路環境の整備を図る。
安全・安心	(強み) ①防災訓練が毎年実施されるなど、地域の防災意識が高い。 ②防犯パトロールが実施され、地域の防犯意識が高い。 ③地域内で交通安全運動を実施している。	①交通ルールの遵守と交通マナーの向上に努める必要がある。 ②災害に対する高い意識を持ち、地域の防災力を高める必要がある。	・やすらぎのある暮らしができる安全・安心な「まち」	【実現プラン】 ①交通安全教室を開催する。 ②地域の危険マップを作成し、危険箇所での安全指導をする。	【実現プラン】 ①自治会で避難訓練等を実施し、防災意識を高める。 ②自治会掲示板等を活用した緊急時の情報伝達の訓練を実施する。	【実現プラン】 ①警察・学校・家庭と連携して防犯教育を行う。 ②声かけあいさつ運動を実施する。	【実現プラン】 ①見通しが困難な箇所の点検整備をする。 ②JR宇都宮線踏切に歩行者などの通路の設置を求める。 ③手づくり道路標識(安全標語)を立てる。
	(弱み) ①消火器・火災報知機の普及率が低い等、各家庭での防災意識が低い。 ②交通モラルの低下が見られ、交通ルールが守られていない。 ③防犯ボランティア等の人材が不足している。	②地域ぐるみで防犯に対する意識を高める必要がある。					